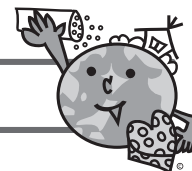




髪の毛を染める場合の ヘナ&インディゴの使い方

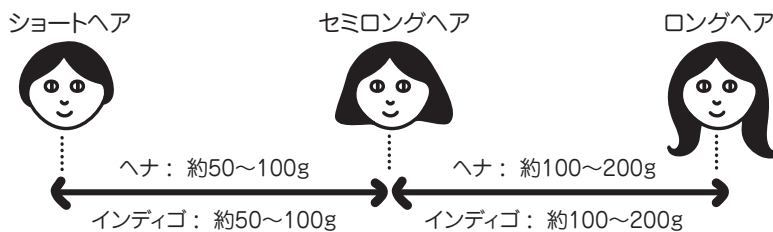


染めるときに用意するもの

- ボウル
- スプーン、ヘラ、木の棒など (かき混ぜるもの)
- ゴム手袋
- ラップやシャワーキャップなど
- 汚れてもいいタオル (2~3枚くらい)

※染める時は、汚れてもいい前開きの服が便利です。

1回に必要なヘナ&インディゴの量の目安



※髪質や毛髪量、または混ぜる時の水分量などに応じて加減してください。

▼以下は、必要に応じてご使用ください。

- ◎ゴムやピンなど髪を小分けにしたり、押さえたりするもの (髪が長い人など)
- ◎ハケ (髪の根元を丁寧に塗る場合など)
- ◎植物オイルやワセリンなど (耳のふちやおでこの生え際など、染めたくない部分にオイル類を塗っておきましょう。食用油でもOK!)

*ヘナペーストの作り方

1. 「染める人に合った量のヘナ粉」をボウルに入れ、すこし熱めのお湯で溶き、よく混ぜる。

(熱湯を使うと、一部の成分が破壊されるため、少し染まりが悪くなります。)

- ◆固さの目安は「マヨネーズ」か「すったとろろ芋」くらいになるよう水加減してください。
- ◆お湯の量の目安は、ヘナ100gあたり2カップ強です。様子を見ながら、少しずつ加えてペーストにしてください。
- ◆この時、少々ダマがあっても大丈夫。時々かき混ぜながら、2時間くらい置くと、とてもなめらかになります。

2. 約2時間~12時間、そのまま置き、よくねかせる。(12時間以上置くと、発色が悪くなる場合がありますのでご注意ください。)

- ◆溶いてすぐはダマができたり、発色も悪いため、初めてご使用の場合は、2時間以上置いて時々かき混ぜると空気に触れ酸化が進み、後の発色がよくなります。
- ◆冬など気温が低い季節は、塗る前にボウルごと湯煎をし、ペーストを温めなおして快適な状態で使うと良いでしょう。
- ◆塗る寸前に、精油を数滴混ぜたり、オリーブオイルやホホバオイルを少し混ぜると、トリートメント効果がでて、さらに使い心地が良くなります。
- ◆ヘナ100gに対して、麦飯石の粉-小さじ1杯程度いれると、発色がよくなり、ヘナ特有のニオイをおさえる効果が期待できます。

*インディゴペーストの作り方

※インディゴペーストには、インディゴ以外には何も加えません。

1. 「染める人に合った量のインディゴ粉」をボウルに入れ、ぬるめのお湯で溶き、よく混ぜる。

インディゴは、酸化すると染まりませんので、混ぜ終わったら時間を置かずに、すぐに髪の根元から塗りはじめてください。

- ◆固さの目安は「マヨネーズ」か「すったとろろ芋」くらいになるよう水加減してください。
 - ◆お湯の量の目安は、インディゴ100gあたり2カップ弱です。様子を見ながら、少しずつ加えてペーストにしてください。
 - ◆ペーストの色がまだ緑色のうちに、なるべく早く塗り終えてください。青く発色してくる(酸化する)と染まりが悪くなります。
 - ◆インディゴは、ヘナの後に塗ってください。ヘナでしっかり染めた上からインディゴを塗ることで、きれいに黒っぽく染まります。
- ※ヘナとインディゴを混ぜたペーストで染めると、ブラウン系に染まりますが、濃さなどは個人差があります。
- 黒っぽくしっかりと染めたい場合は、ヘナで染めた後にインディゴで染める方法をおすすめします。